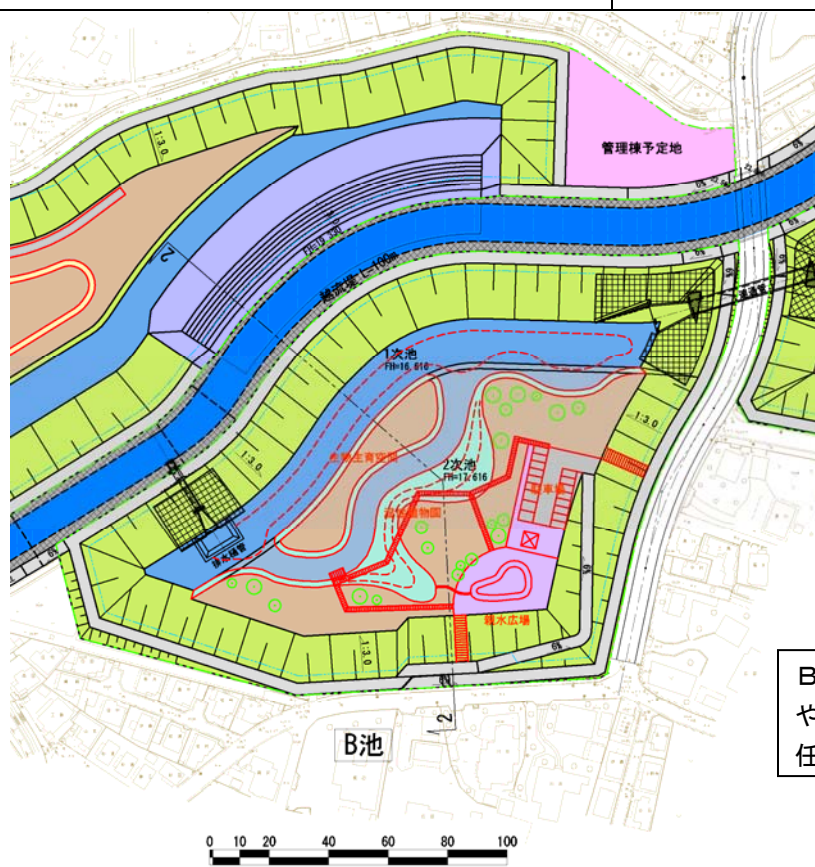


【B池の導入機能（施設）】

湿性植物園（ビオトープ）	親水広場
<p>湿性植物園の整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが自然（水や植物）にふれられる空間 ・一次池側は、自然的な「湿生観察園」とする ・湿生観察園にはボードウォークを設置し、生物観察や学習の場として活用  <p>湿性植物園のイメージ</p>	<p>親水広場の整備イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちが自然（水や植物）にふれられる空間 ・住宅地に近い側は、公園的な「親水広場」とする ・親水広場では、湧水を利用し、子どもたちが水遊びをすることが可能  <p>親水広場のイメージ</p>



B池 面積表

記号	土地利用	面積 (㎡)	割合 (%)
	法面	9,475	40.6
	越流堤	0	0.0
	道路	2,928	12.5
	管理用施設	0	0.0
	一次池	2,921	12.5
	二次池 (ビオトープ水面)	1,611	6.9
	二次池 (ビオトープ法面)	1,270	5.4
	二次池 (ビオトープ陸地)	3,805	16.3
	二次池 (親水広場)	857	3.7
	二次池 (道路・駐車場)	467	2.0
	合計	23,334	100.0

B池内の湿性植物園（ビオトープ）や親水公園の規模は、現時点では任意に設定しています。

○施設の導入に当たっての問題・課題

導入機能（施設）	問題・課題
湿性植物園（ビオトープ）	・ 常時水を貯留する必要がある
親水広場	・ 湧水または水道水といったきれいな水の確保
トイレ	・ 冠水しない位置に設置 ・ 下水道と連結して設置
駐車場	・ 施設付近へのアプローチ、スロープが必要